

”最後の”ファミリーハゼ釣り大会晴天の中開催

10月2日（日）朝は寒さを感じましたが、まだ夏を思わせるような暑い一日のなか、吉野川の河川敷で第40回ファミリーハゼ釣り大会が行われました。

今回事前申し込みや当日の受付で名簿記入、また釣りエリアの縮小やライフジャケット着用義務エリアの設定などを行いました。参加の皆さんにご協力のおかげでスムーズに実施することができました。



初めてキッチンカーもお招きし、

- ・OHANA FOOD TRUCK
- ・TOKUSHIMA REIS KEBAB

トラクターが指導する形で実施。大会にもエントリーして、皆さん計量することができました。



大会は、240人が参加し、ハゼ10匹までの重量を、①一般の部 ②女性・少年の部 ③ファミリーの部の3部門で競いました。

大会の結果は、徳島新聞釣りだより

<https://www.topics.or.jp/articles/ー/777347>にも掲載されていましたが、

〈一般の部〉

- ① 徳島市の方が440グラム

- ② 徳島市の方が 380 グラム
- ③ 佐那河内村の方が 325 グラム

〈女性・少年の部〉

- ① 徳島市の少年が 345 グラム
- ② 板野町の少女が 330 グラム
- ③ 藍住町の少年が 285 グラム

〈ファミリーの部〉

- ① 鳴門市のグループが 435 グラム
- ② 徳島市のグループが 365 グラム
- ③ 徳島市のグループが 330 グラムで表彰を受けました。

ファミリーの部は、10位まで賞品があり、また他魚の部では、一般の部でも②位になった少年が385 舒の見事なセイゴで受賞されました。入賞された皆様おめでとうございます！表彰式に先立ち、

- ・海上保安部さんによる水辺の安全講習
- ・とくしま自然観察の会の皆さんの寸劇による、河口干潟の魅力

も参加の皆さんに聞いていただきました。また表彰式の最後に、第2回大会からご尽力されてきた近江さんに感謝の気持ちを込めて花束の贈呈も行われました。本当にありがとうございました！

今回でこの形でのハゼ釣り大会は終了ということですが、また違った形で来年も大会や釣りイベントが実施できるよう、これから来年に向けて関係者の相談がはじまっています。

方向性としては、「釣りもある、川で楽しむ一日」のような釣りをしない方も川を訪れる機会を設けて、世界的にも有数な生き物の宝庫である吉野川の汽7虹或をもっと多くの方にも認知してもらうことが、地域の魅力アップにつながると思っています。

主催者でもある県釣具商組合さんら多くの協賛もありました。

- ・徳島県釣具商組合…賞品
- ・日本釣振興会…レジャーシート
- ・徳島海上保安部…携帯電話用防水ポーチ
- ・レジャーフィッシング…オリジナルタオル
- ・日本たばこ産業株式会社徳島支店…携帯灰皿



メディアの取材も多くありました。

- ・徳島新聞社…翌日の紙面に掲載
<https://www.topics.or.jp/articles/-/776845>
- ・徳島新聞メディア…釣り教室に体験取材し（後日）動画にアップ
- ・読売新聞社
- ・テレビトクシマ…ステップ内で放送 <https://youtu.be/-zbOc2CECpE?t=108>
- ・レジャーフィッシング

今大会は、

- ・日本釣振興会徳島県支部
- ・徳島県釣具商組合
- ・一般社団法人 TSURIBITO の3者が構成する「第40回ファミリーハゼ釣り大会実行委員会」が主催。

協力

- ・四国の川を考える会
- ・国土交通省徳島河川国道事務所
- ・徳島市
- ・新町川を守る会、

後援

- ・一般社団法人徳島新聞社
- ・四国放送株式会社

皆様とともに実施しました。

また来年以降はもっと多くの方に親しまれるような催しになるよう、関係者の人として尽力できればと思っています！